

(様式第1号の3)

活動計画書 (活動内容を拡充する場合)

1 申請団体の概要

ふりがな	ちいきせいかつささえあいのかい		
団体等名称	地域生活ささえあいの会		
ふりがな	やまもと たろう	ふりがな	たなか
代表者職・氏名	代表 山本 太郎	連絡担当者職・氏名	事務担当 田中
団体の所在地	〒691-0011 松江市東津田町 000		
TEL	0852-00-0000	FAX	0852-00-0000
E-mail	chiiki@fukushi		
◇団体概要 ※組織構成を図示してください <u>別紙可</u>	構成員数 (うち、活動に関わる人数)	10 名 (10 名)	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">代表</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">事務局 2 名</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">運営スタッフ 7 名</div>			

2 活動の概要

(1) 活動のテーマ

<テーマ> ※申請する活動に○を記入	
○	①地域での生活を維持するための有償サービス活動 (買い物支援、生活支援、移動支援等)
	②日常生活や社会生活における孤独・孤立等の課題を抱えた方を地域で支援する活動 (ひきこもり状態にある方の居場所や就労の場づくり等)
<助成期間> ※申請する期間に○を記入	
	1 年間
○	2 年間

(2) 活動の内容

活動名 地域生活サポートサービス事業	
①地域の現状と生活課題	
地域では高齢化が進み、高齢者のみ世帯が増えている。買い物や通院の移動手段がない住民、日常生活の簡単な作業が困難な住民が増加している。地域内で生活を維持するための支援サービスが不足している。	
②活動の目的	
地域住民による有償の助け合いサービスを実施し、高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活を続けられる環境を整える。	
③これまでの活動（サービス内容、地域、対象等具体的に記入）	
〇〇市〇〇地区（約 800 世帯）、うち高齢者のみの世帯 40%。 当団体では、これまで地域の高齢者を対象に、利用者会費月 6 0 0 円で次のような生活支援活動を実施してきた。 ・ 地域サロンの開催（月 2 回） ・ 高齢者宅の見守り ・ 掃除、ゴミ出しなどの生活支援	
④拡充する必要性や経緯	
現在の活動はボランティア中心であり、担い手の負担が大きく、継続的な支援体制の構築が難しい。そのため、一定の利用料をいただく有償サービスの体制を整備し、担い手の確保と活動の持続性を高める必要がある。	
⑤拡充の活動（活動内容・拠点・発信等具体的に記入）	
（現在）	（拡充後）
〇活動内容 ・ 有償生活支援サービス 利用者想定 2 0 人程度、月 6 0 0 円 ・ 地域サロンの開催（月 2 回） ・ 高齢者宅の見守り ・ 掃除、ゴミ出しなどの生活支援 〇発信 ・ 自治会長や民生委員を中心に周知	〇活動内容 ・ 有償生活支援サービスの拡充 利用者想定 4 0 人程度、月 8 0 0 円 ・ 買い物支援 ・ 通院・外出の移動支援 ・ 掃除、ゴミ出しなどの生活支援 〇発信 ・ チラシを作成し、利用者増となるよう働きかけ
⑥活動の継続（財源確保等）	
参加費収入、寄付、自治会協力により事業継続を目指す。	

(3) 実施計画

時期	内容
令和8年8月	事業準備、担い手募集
令和8年度内	担い手研修、利用ルール検討、車両整備
令和9年2月	活動の振り返り、次年度計画
令和9年3月	有償生活サービスチラシ作成
令和9年4月	有償生活サービス開始
令和9年度内	活動内容、検討
令和10年2月	活動の振り返り

※初年度を中心に、2年間の計画を可能な限り記載ください。

3 その他

①助成期間終了後の目指したい地域の姿
地域住民が主体となった生活支援サービスが地域に定着し、高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できる仕組みが整備されている。
②活動の検証方法（誰が、いつ、どうやって）
例) アンケート、聞き取りなど ・利用者アンケート、担い手アンケート、利用件数の集計

記入例 テーマ①

(様式第1号の4)

活 動 予 算 書

1 収入の部 (単位：円)

項 目	対象経費	1年目	2年目	摘 要 (積算内訳等)
本 件 助 成 金	2,421,000 円	1,800,000 円	621,000 円	
自 己 資 金	324,000 円	255,000 円	69,000 円	注1)
そ の 他	円			
合 計 (★)	2,745,000 円	2,055,000 円	690,000 円	

注1) 助成実施により得る見込みの収入は該当しません。

※本件助成金が、対象経費の10分の9以内であることを確認ください。

2-1 支出の部【1年目】 (単位：円)

科 目	摘 要 (積算内訳・仕様等)	対象経費	申請額	自己資金
諸謝金	運転者講習講師	80,000 円	80,000 円	
旅費	講師旅費	20,000 円	20,000 円	
消耗器具備品費	保冷 BOX、インク代等	150,000 円	150,000 円	
印刷製本費	チラシ等(初回および2年目の内容更新時に作成)	30,000 円	30,000 円	
賃借料	研修会場費	20,000 円	20,000 円	
保険料	ボランティア保険(車両保険サービス @1,100 円×50 日)	55,000 円	55,000 円	
取得費	車両購入	1,700,000 円	1,445,000 円	255,000 円
合 計 (★)		2,055,000 円	1,800,000 円	255,000 円

※人件費は、申請額の10%以内であることを確認ください。

2-2 支出の部【2年目】 (単位：円)

科 目	摘 要 (積算内訳・仕様等)	対象経費	申請額	自己資金
消耗器具備品費	保冷 BOX、インク代等	250,000 円	181,000 円	69,000 円
印刷製本費	チラシ等(初回および2年目の内容更新時に作成)	70,000 円	70,000 円	
広報費	パンフレット、活動誌	150,000 円	150,000 円	
保険料	ボランティア保険(車両保険サービス @1,100 円×250 日)	220,000 円	220,000 円	
合 計 (★)		690,000 円	621,000 円	69,000 円

注2) 「1 収入の部」と「2 支出の部」の合計(★)の金額は一致します。

◇以下に該当する場合は、それぞれ記載の資料を添付してください。

- ・ 1 件 1 0 万円以上の物品の購入にあたっては、物品の詳細が分かる資料（カタログ）及び 2 者以上の見積書の写し
- ・ 消耗品（文房具類等）購入の場合、内訳が分かる一覧表
- ・ 土地や建物の借用が生ずる場合、契約書類の写し
- ・ 施設整備及び改修を行う場合は、施工図面、見積書（1 0 万円以上の場合は 2 者以上）、施設設置場所周辺の地図
- ・ 車輛を取得する場合は、見積書（1 0 万円以上の場合は 2 者以上）

◇表面の各摘要欄が不足する場合は、適宜、資料を添付する等により対応してください。